

<白金標準、19日 WPIC 第3四半期 PGM 需給報告・・・>



(出所：オアシス)

週末に12月の利下げ確率が後退し、利下げ期待後退に伴うポジション解消の動きに抑えられ、7660円まで高値を試した白金標準先物は、一時7088円まで下値を試している。

しかし需給に目を向けると南アフリカのプラチナ鉱山の生産量は低下傾向が続いており、需要を補うだけの供給期待ができない状態が2年間続いており、英国の貴金属コンサルタント会社メタルズフォーカスは2026年も供給不足を予想し、3年連続の供給不足を予想している。また中国ではプラチナに対する付加価値税の課税で、上海黄金交易所のプラチナ価格はロコ・チューリッヒの価格を200ドル上回るプレミアムを示すなど、駆け込み需要から中国の輸入量は増加しており、市場の流動性は著しく損なわれ、依然とロンドン市場におけるプラチナリースレートは10%を超えている。また中国の広州先物取引所は中国初の貴金属デリバティブ市場開設しプラチナとパラジウムの先物取引が数週間内に開始され「より多くの投資家が中国の動向に注目するようになり、結果として中国の国際価格への影響力が強まるだろう」とアナリストは述べている。特に19日WPIC第3四半期PGM需給報告が発表されると再度供給不足が意識されると高値追いを試す可能性は高まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルが下げ止まり、またRCIでは短期が止まるも、長期は切り上げている。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小し上下に振れる値動きに注意が必要と思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,880,000 円(2025 年 11 月 17 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 11 月 17 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>